Engineer

4リポジトリで共通の履歴基準を維持

4つのリポジトリに対し、Conventional Commits、絵文字禁止、帰属トレーラー禁止という共通の履歴基準をコミットメッセージフックで適用し、作業方法を定める48件の指示文書とともに運用した。

7月 2026

48

仕事の進め方を定める指示文書

状況. 1人で18か月かけた4リポジトリは、調整相手がなく、読みにくい履歴の費用をまだ不満を言わない未来の自分だけが払うため、手順を省きやすい。引き寄せるものがなければ、各リポジトリが独自の習慣へずれ、履歴も不統一になりやすい。

題. 作業する全リポジトリで、履歴と指示の基準をそれぞれ1つにし、記憶でなく機械で適用する必要があった。

動. 変更種別とscopeの慣例接頭辞、固定長未満の件名、絵文字禁止、帰属trailer禁止とした。ツールへの謝辞は変更の事実でなく、履歴は変更の事実のためだからだった。全作業リポジトリのcommit-msgで不適合を拒否し、個人でなくリポジトリの性質にした。最大リポジトリはfeature156、fix133、docs128、chore81、refactor26、style20、performance5、test3だった。文書が修正に近いのは、4リポジトリに48指示文書を設けたためでもある。各々が領域別の規則であり、1つの入口からたどれるようにした。行数予算と目次所属を検査し、保管庫へ膨らまず道筋を保った。

果. 4リポジトリが共通の履歴形式と指示構造を、規律でなくフックで共有した。ただし形式だけを見て内容は見ないため、何も説明しない適合件名も、変更を説明する件名と同じように通る。良い履歴そのものを保証するものではない。

この経験をお客様のプロジェクトに

「4リポジトリで共通の履歴基準を維持」を、お客様の組織の似た課題を考える出発点にしてください。この実績を支えたサービスを、お客様のプロジェクトにも提供できます。 変更を検証し、リリースし、元に戻せる仕組みを整え、金曜の深夜ではなく火曜の午後にお客様へ届けられるようにします。

サービスを見る お問い合わせ →

結果の背景を確かめる

この事例の状況、判断、結果をご覧ください。どの部分がお客様の制約の下でも生かせるか、どこに別の方法が必要かをご相談いただけます。 4リポジトリで共通の履歴基準を維持 — 48 仕事の進め方を定める指示文書

サービスを見る お問い合わせ →

全リポジトリで共通の基準を維持したいですか？

納品を担当するエンジニアに、プロジェクトについてご相談ください。着手前に、業務範囲、価格の算定方法、引き継ぎ内容を書面で合意します。

担当した役割：テクニカルライター。 関連する分野： DevOps, 自動化・CI/CD, 技術面の統率, プロジェクト管理, アジャイル・Scrum および 文書作成. こちらのサービスも得意としています DevOps・CI/CD自動化, 技術面の統率・コンサルティング, プロジェクト管理（アジャイル） および 技術文書の作成.

お問い合わせ サービスを見る

より多くの実績の **一つです** — そのすべてをこのサイトで公開しています。

どの項目も、状況、課題、実施内容、変化という同じ構成で記載しています。

すべての実績を見る

必要な改善を定める

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

全リポジトリで共通の基準を維持したいですか？

「4リポジトリで共通の履歴基準を維持」の判断の背景についてお尋ねください。仕事内容を説明し、お客様のプロジェクトを検討できる担当者が対応します。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/portfolio/held-4-repositories-to-one-history-standard/